夕刊
磐城時報
卅一日發行
福島縣平市紺屋町十四 編輯兼發行 印刷人 岡田弘成
福島縣平市紺屋町十四 印刷所 磐城時報社
福島縣平市紺屋町十四 發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金廿錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

壹萬圓の幸運は
◇……誰に當るか

壹萬圓の幸運を引き當てべき待望の第一回、第二回の報國債券の初回抽籤は愈々八月一日勸業銀行に於て同日午前九時より執行することになつた。其の一、二等に當籤するものは

第一回 十圓券
一等 壹萬圓 二〇本
二等 一千圓 四〇本
同 五圓券
一等 五千圓 一〇本
二等 五百圓 二〇本
第二回 十圓券
一等 壹萬圓 三〇本
二等 一千圓 六〇本
同 五圓券
一等 五千圓 一〇本
二等 五百圓 二〇本

となる譯で、此の日勸業銀行で當籤發表と同時に新聞社及日本放送協會に通報して當日の全國新聞、夕刊並にラヂオ（正午及び七時のニュース）にて放送することになつた。

而して當市に於ては農工銀行支店に於て其の當籤を勸業銀行より其の日直に通告を受けることになつて居るので店頭に掲示して周知の方法を講ずることになつた。

古河竪坑復活
排水漸やく完了

石城郡好間村の古河炭礦では去る大正の末、水沒の厄に遭つた竪坑復舊のため數年來心血を注いでゐたが、湧泉源地に對するセメント注入が完全に成功して排水に努めた結果最近漸く全滯水を排はれて約二十年間動かなかつた竪坑の車が回轉をはじめて同社は勿論附近に大きな活況を漂はしてゐる。

復活された同坑は坑內外の諸設備を整へて愈よこれから出炭と云ふ間際に溫泉が吹きぬけた災害であるだけに損害も大きく當時七百萬圓と云はれた投資が無となつた悲運にも古河なればこそビクともせず後圖の處理をつけて今日に及んだもので、目下二十年間水に沈んだ捲機、揚水ポンプその他の鐵器を坑外に搬出されてゐるが、トロリーや機械類はガタ〱となつても、鐵管の如きは比較的損傷なく其まゝで使用には堪えないとしても時局柄鐵器類が世に出ただけでも莫大なものと云はれ、久しく水に浸つた坑內の崩壞を取分け仕操りながら若干の出炭を見つゝ工を進めてゐる復舊の完成は本年末頃らしく同時に本格的の採炭を開始する模樣であつて同坑復活の幸社運は云ふまでもなく、莫大な出炭增加は時局柄非常な貢獻であるを喜ばれてゐる。

贅澤品
放逐方策

七・七禁令の發動と共に奢侈贅澤品の使用抑制がやかましく叫ばれてゐる折柄、市でも其筋からの通牒に基き目下左記腹案を練つて居り、近く各區長を經て市民全般に周知せしめる一方あらゆる機會をとらへこれを强調すると

一、町會、隣組等精動實踐網に呼びかけ市會等による懇談申合
一、上流家庭、殷賑産業方面への强調
一、學校を通じ洋裁學校、長唄舞踊の會への徹底
一、婦人團体、敎化團体等での申合、贅澤全廢同盟等の結成慫慂
一、藝妓、特殊飲食組合の協力による贅澤全廢の申合

◎他店で御氣に召さぬ時は是非一度
弊店はほんとうの純ドライクリーニング機械を使用致します。
正直なる仕事と優秀なる技術を望まるゝ方は
平 田町の
白榮舍 ランドリー

音響が五キロに達する
大サイレン取付け

平市警防團では平署前詰所のサイレンを二十馬力のものとすべく工費二千五百圓で取付ける事になつたが、來る十月の防空演習までには完成する筈で、遠く五キロに音響が達すると

東北更新會
三日間平市に開く

東北更新會では五日から三日間平市公會堂に東北六縣支部幹部會を開き總裁水野錬太郎氏始め幹部二百名出席、姙産婦、乳幼兒の保護其他の活動について協議する

飲食物
協定價格

平飲食店組合では近く會合、飲食物を左の如く協定する方針である。

▲そば、うどん十錢▲天丼、親子丼三十錢▲玉子丼二十五錢▲ライスカレー十五錢▲チラシスシ二十錢▲カツ丼三十五錢▲カツレツ二十五錢▲エビ天丼四十錢

舊盆の行事は
すべて共同で
小名濱町寺院申合せ

小名濱町では冗費節約の目的で中元贈答品の全廢を町民に徹底せしむる事になつたが、各寺院では二十九日自唱院に集合協議の結果、舊盆を迎へる十三日には墳家が各寺院に集まり共同で迎へ火を焚く事に決定、十四日十五日の展墓は全廢、十六日は寺院で共同で行事を行ふ事になつた。

四倉の藝妓が
興亞奉公日の計劃

四倉町の藝妓連約三十餘名は明一日の興亞奉公日の休日を無駄に暮らすのも時局柄と思ひ勤勞奉仕を行なふことと成り三班に分れて神社、佛閣、海岸道路、戰病死勇士の墓地等を掃除する事になつた。

氣壓は眞夏型
愈々暑くなる

二十五日の酷暑百度を峠として其後は累日氣溫低下、稻作はどうかと疑はしむるに至つた昨今の天候打診を小名濱測候所の富山技手に聞く

高氣壓が東北洋上及び千島洋上に七六四ミリを示して東高西低即梅雨型を顯現して居る元來本土は入梅時機よりも梅雨明け後に梅雨が來ると云ふ事は普通で、本年なども其通りであるが、然し今の處そう永びくとは思はれない。それは銚子沖に七百二ミリの低氣壓が起り擴大性を以て進行を見せて居るから是の低氣壓が高氣を一蹴して南高北低の氣壓の配置を恢復せば天氣も回復して又蒸し熱い好時候となる譯けで、既に高氣壓を一蹴するに足る颱風さへ現はれて居るから颱風一過の後を見るさやけさは望み得るであらう

精動通信
戰時下也先づ節酒禁酒
獻酬の作法知らねば恥多し

眞繼雲山

物資貴重の戰時下に、酒不足、ビール不足は當然の樣相であり、不平を並べるのは不屆千萬。但し闇でなければ酒が手に入らぬとあつては、玆もと上戸黨大恐慌で、酒ぎらいは人生の至福である。

西洋人は、禮儀として乾盃といふことを行ひ、日本人は盃の獻酬をやる。

佛說にては不飲酒戒といひて五戒の一に數へ、これを破るものは次生に人界に生れ難しとある。但し上の四戒は制戒といひて絕對的であるも、酒の方は遮戒といつて、害ある故に遮り戒しむるの意であり、害の伴ふ無くんば飲酒も可なりとしてある。勞後の一杯は百味の飲食にまさる、それをしも地獄へ突き落すお釋樣でない。上戸黨御安心あれ。

酒席に於て筆者がたゞ一つ困惑するのは盃の獻酬である人によると、自分の盃へ二度目につぐのは罪惡でゞもあるかのやうに考へ、何回でも無暗に差してくる人がある、今は都會ではこんな舊式は流行しないが、農村へ歸ると矢ばり獻酬の風が拔けない。都會でも宴會などへ行くと、大切さうに自分の盃一つを持參して次から次へと差して廻る男がある、無暗な獻酬は相手にとつて迷惑なばかりでなく、非衞生でもあり、何うしても無理强いになり易く、物資貴重の今日としては國策に反すること夥しく、結論としては儀禮に反することになる。

もともと獻酬といふことはその由來と本義を知るなら、さう無暗になすべきことではない。大體これはその昔大名が、上座から並ゐる家來に對し『盃を取らする』といつて與へたのが始まりで、家來は『お流れ頂戴』と恭しく頂いて末席の者はそのまゝ下げたものだといはれ、お大名に御返盃など言へば忽ち切腹ものである。それが同輩ではいつしか獻酬となつたのであらうが、來歷すでに然りであるから、幾分にても自分より目上に對し盃を差すといふ禮はない、是非欲しければ『一つ頂戴さして頂きます』と空手で申し受くるが禮であり、同格としても差す場合には『頂く節ですが……』といふ前口上が必要である。然るに牡丹餠でも配つて歩くつもりで『君失敬々々』といつた調子で差して廻るのは、それこそ失敬も甚しく、禮儀知らずといふ外はない。

兎もあれ戰時下の今日は、先づ禁酒を第一とし、飲酒やむなしとするも、節約のため又二つには保健衞生上の上からも盃の獻酬は絕對禁制と致したいものである。

歸還勇士
感謝會

平市では一日午前八時から縣社子鍬倉神社で歸還勇士感謝會を催す

皇軍扶翼會

大日本皇軍扶翼會四倉支部では今三十一日午後七時より本町青年會館に於て會員の座談會を開催する

阿久津中尉
湯本町葬

湯本町三函出身故歩兵中尉阿久津勳氏の町葬は來月三日午後一時から湯本新校舍で執行する。故中尉は平商業出身、法政大政治經濟科在學中入營昨年少尉に任官、溫井部隊に屬し活躍中途に河北省藁城縣附近の戰鬪で壯烈な戰死を遂げたもの

經濟違反
增加する

平署經濟係では今年一月から六月末までの統制諸法令違反事件を此の程纒めたが、これを見ると最近の經濟警察違反は次第に增加且つ惡質化してゐることがうかゞはれる

即ち一月から六月末近の違反件數は訓戒一八件、科料一二件、檢擧件數二七六件の三一六人、內送致したもの二七件といふ數字を示し、その犯罪の主なるものは公定價格違反米の闇取引、暴利取締令違反等々で

これを前年に比較すれば約三倍に近い件數、人員送致者で國家必至の物價統制も利慾に飽なき不正商人によつて完全に裏切られてゐることを曝露した。これに對する取締陣は〃既に說諭や注意の時代ではない〃と斷の一字をもつてのぞんでゐるが、送致件數のかくの如き增加は警察當局の嚴罰方針と共に不正商人の闇手段がいよ〱巧妙惡質化したことをもの語るものとして注目をひいてゐる

◇◇◇寸感集

湯本長流

○生命を亂費する勿れ

汽車に乘りて退屈するは愚の骨頂ならずや。貴賤貧富を問はずオリンピックのマラソン選擧と雖も一定の時間を經ざれば目的地には着せざる也。

西哲曰く『時は金なり』と。吾人は斷ず『時は生命なり』と。車中の時間竝に空過して可ならんや、談ずべし、讀むべし、考ふべし、書くべし、然らざれば眠りて他日の活動に備へん。

○男兒の言

古人曰く『言ふは易く行ふは難し』これ薄志弱行の辨なり。男兒須く言實を重ずべし。吾人の立言は再考三思、研究と準備と確信とを前提とす。吾等敢て言ふ『言ふは難く行ふは易し』

○便所哲學

どんな忙しい人もこゝでは働く能はず、如何なる貧乏人も債鬼はこゝ迄來らず、悠々たる哉別天地。身内の餘剩を拂ふと共に浮世の塵を忘れて、ユックリと天地自然古往今來を考ふべし

○凝つては思案も及ばず

『小人閑居して不善をなす』ヒマのマの字はまた魔物のマの字なり。ヒマがあるから錄なことはせざるなり、ヒマを退治することゝ又、向上の一途なり。宜しく閑を活用して趣味の世界に遊べ。碁よしスポーツよし讀書は更によし、されどヒマ退治に專念して大切の要務を怠るは、角を矯めて牛を殺す類なり。

○向上の一途

惡を善化し、醜を美化する所に人生の向上進歩は在り、一家に於て便所を淨化するは向上の第一歩ならずや、便所の淸潔は奉仕なり、修養なり、この聖務意矢れ婦女子にのみ委せて憂如たるを得んや。

○履物整頓

會社でも私宅でも履物の亂雜は他人事と思ふべからず。亂と整とは脫ぎ方一つ僅かに一投足の勞なり、他人の下駄でも默つて整頓せよ。君子の道はその心の近きに在り。

○事務小言

人生匆忙毎日々々仕事に追はれ忙しい〳〵で一生暮す。これ仕事に追はるゝが故なり、日々の仕事をキチンとして須らく仕事を追ふべし。仕事餘裕あれば心の餘裕自ら生ずべし。

……出前迅速……
御料理
〝むぎとろ〟
さつき
平市紅小路　電四八八

久
釜屋商店
電九・九九番

精神修養に……
〝謠曲と仕舞〟
喜多流　白土會
『人命隨意』平市田町六九

一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科
平市田町（電五〇九）
院長　中野惠次

女中さん
至急數名入用
御希望の御方は
平市田町
割烹花村
電話四番

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん
◆堅實な營業方針の　サロンのお客樣は當地一流の方々です
◆色々な方に接することが　社交儀禮の實際に學び　成功の糸口ともなります
調理見習婦人
◆定評ある　サロンの調理法を御傳授いたします
◆見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◆14歳以上30歳迄の健康な方
◆3年以上勤續出來る方
◆親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
電話592
サロン

体位向上の夏
新舞子や四倉の海は招く
海岸行は快適な木炭バス
今年は更に增車致しました
平↑↓四倉　往復券二割引四十錢
（團体は特に御相談に應じます）
御案内
★ピクニック、船遊びには日本百景新舞子、仁井田浦へ……約二丁
★海水浴には……四倉海水浴場へ……約一丁
★波立藥師、鰐ヶ淵海岸へは……約八丁
平市四丁目
合名會社　平四倉乘合自動車
電話五九四番

優秀純國産
アサヒミシン
ニツポンミシン
パインミシン
ニツサンミシン
シンガーミシン
非常時服型錄進呈
現金・月賦◎敎授
常磐線特約販賣店
シンガーミシン商會
平市驛前田町
中古ミシン買入

ミシン界の權威　商工省撰定
陸軍省御用達　滿洲國御指定

吸入用酸素
純度99%
寫眞機
材料一式
現像
焼付
引伸
電話四〇番
秤量器
モノサシ
ハカリ
マス
秤量器
ハカリ取緒（トリヲ）・錘糸（タマイト）・修覆致シマス（トリカヘ）
體温器
寒暖計
平市古鍛冶町
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九五七五番
明治生命
磐城代理店　山崎與三郎

盆の御用意
◎故人の靈を祀るお盆が近づきました
◎祖先崇拜は家庭繁榮の礎
佛壇、塗位牌、佛金具類等を豊富に取揃へました
◎値段ばかり安くても品質が粗末では勉强でありません。安いだけでも店はハヤリマセン
盆の御用意は是非當店又は各支店へ
平市四丁目（郵便局向ひ通）
山光堂　佛具造花問屋
電話五五〇番
石城郡四倉本町
支店　博善社

花柳病科
泌尿器科
皮膚科
專門
診療時間　午前八時より午後九時まで
（入院隨意）
平市田町【電話六九一】
江尻醫院
醫學博士　江尻伊三郎

內科
外科
一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町【電話三五八番】

ピマーナ
美味しいビタミンAのセリー
特許
平市五丁目
山野邊藥局
五十錠入一、一〇
百錠入二、〇〇
德用罐五、〇〇